

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

### 【事例概要について】

• •

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	夜間緊急走行中において、暗色車両を確認できず接触しそうになる。
3. 体験した事例の中心的要素	救急車で緊急走行中、点滅信号交差点において安全確認後進入するも、前照灯を点灯しない暗色車両が右から接近し、交差点内で接触しそうになつた。
4. 体験した事例の原因・理由	1 出場が夜間であったため、思考能力が低下していた。 2 確認しにくい場所と考えながらも、車（暗色車両含む）が来ると思う気持ちが低下していた。 3 暗色物は、夜間確認しにくい。 4 前照灯を点灯しないで走行する車両が考えられなかつた。

### 【体験した事例の直接的原因について】

• •

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があつた。
------------------	--------------

### 【体験した事例について】

• •

1. 発生日時	平成 16 年 7 月 日 午前 3 時頃
2. 発生した当時の天候	わからない
3. 発生した活動現場	屋外：交差点内
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	
7. 事例体験時の活動	救急出動途上、 [ ]
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	その他：出場途上
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[ 35 ]歳、 勤続年数[ 15 ]年、 現場経験年数[ 15 ]年、 階級[ 消防士長 ]、 同様の活動 [ 初めて ]、 任務 [ 機関員 ]
○当事者B	年齢[ 50 ]歳、 勤続年数[ 30 ]年、 現場経験年数[ 30 ]年、 階級[ 消防司令 ]、 同様の活動 [ 数年に 1 度程度 ]、 任務 [ 車長 ]
○当事者C	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、 同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者 1	停止線にて交差点右側の安全確認を行う。	救急車停止。
経過 2	当事者 2	停止線にて交差点左側の安全確認を行う。	
経過 3	当事者 1	左側を確認後、交差点内に走行開始。	
経過 4	当事者 2	走行開始と同時に右側を確認。	
経過 5	当事者 2	接近する暗色車両に気づき停止を指示。	暗色車両停止。
経過 6	当事者 1	車両停止の指示を受け停止。	
経過 7	当事者 1	暗色車両停止を確認後、走行開始。	
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

• •

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が優れていた。危険事象の対応方法を知っていた。資機材の機能が適切だった。  
資機材の操作がうまくいった。現場周辺の地理を知っていた。指揮者が適切に指示した。他隊(員)との連携活動がうまくいった。他隊(員)から適切な注意を受けた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	はい

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあつた。	いいえ
・指示内容が実施困難であつた。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

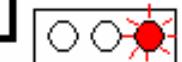
k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があつた。

いいえ
-----



赤色点滅信号



黄色点滅信号



気付かなければ  
接触していた



前照灯を点灯していない  
暗色車両が接近する。

救急車

緊急走行中

停止線にて安全を  
確認後、交差点内に  
ゆっくり進入するも  
暗色車両に気付くのが  
遅れた。